

【長与町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

これからの時代を生きる子どもたちは、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を身に付けることが必要とされている。

また、教育現場には、「令和の日本型学校教育」を実現し、これらの資質・能力を育成するため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることが求められている。

このような中、本町では、「第2期教育振興基本計画」において、GIGAスクール構想で整備された1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークによる、特別な支援を必要とする児童生徒を含めた多様な全ての児童生徒に求められる資質・能力が確実に育成できる授業実現のための教育ICT環境の構築を目指している。

今後、GIGAスクール構想第2期に向けて、1人1台端末をはじめとするICT環境によって以下のような児童生徒の学びの姿の実現を目指していきたいと考える。

(1) 個別最適な学びの実現

- ① AIドリルや電子教材の学習履歴、デジタル採点システムの分析等を活用し、一人一人の特性・学習進度・学習到達度、興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じた学習支援を受けることで、児童生徒が自己調整しながら学習を進めることができる。
- ② 特別な支援を必要とする児童生徒については、読み上げ機能や文字変換機能、視覚・聴覚支援機能、入出力支援装置等を活用し、個々の特性に応じた学習環境で、自己調整しながら学習を進めることができる。

(2) 協働的な学びの促進

- ① 1人1台端末をはじめとするICT環境を最大限に活用し、児童生徒がオンラインで学校や地域、国を超えて、そして、障害の有無に関わらず、交流と学び合いができる。
- ② ICTの活用により、児童生徒一人一人が自分のペースを大事にし、協働しながら作成・編集等を行う活動や、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動などもできる。

(1)および(2)の学びの姿を、ICTの持つ特性を最大限生かして、一体的に充実させることにより、個々の資質・能力を伸ばすための高度な学びの機会を全ての児童生徒に保障する。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下において、児童生徒の学びを保障するため、オンライン学習等の活用が進み、学びの変容があった。

本町の町立小中学校においては、令和2年度以降、1人1台端末及び校内無線LANを含む大容量通信ネットワーク、及び周辺機器などのICT環境の整備を行った。これらの取組により、児童生徒が1人1台端末を用いて、自らの学習課題に応じた情報収集を行うことや他者と協働して学習活動に取り組むことを容易にした。

また、学校における教員のICT活用（授業、校務、教員研修等）をサポートすることにより、ICTを活用した授業等を教員がスムーズに行うため、ICT支援員2名を配置している。さらには、令和4年度から子供の学びを保障するための「運用面の支援」の更なる強化が求められていることを踏まえ、「人」中心の支援を、民間事業者を活用した「組織」中心による広域的な支援体制へと発展・充実させて、より安定的な支援基盤の構築のためのGIGAスクール運営支援センターを設置し、教員の指導力を高めるため、ICT活用に関する研修や活用事例についての情報発信や端末管理支援を行ってきた。加えて、各学校の状況に応じた無線アクセスポイントの追加整備、令和6年度には簡易的なネットワークアセスメントの実施など、児童生徒の学習環境の充実に努めた。

これらの取組を通して、本町における教員のICT活用指導力は、年々向上している。

一方で、本町においても、授業におけるICT活用の推進状況について、学校間や教員間での取組の差が生じている現状や近年の子どもたちを取り巻くICT環境の変化により児童生徒のICT利用に伴うトラブルが見られる現状もある。そのため、教員のICT活用指導力の更なる向上や、情報モラル教育の充実を加速することが求められる。

これらのことから、教員向けの各種研修を充実させ、ICT活用指導力の向上に努め、もって児童生徒の情報モラルを含む情報活用能力の涵養に努める。

3. 1人1台端末の利活用方策

上記、1および2の内容を踏まえ、求められる資質・能力を児童生徒が身に付けるために、1人1台端末を利活用して以下の各項目に取り組む。そのために、1人1台端末の整備・更新を適切に行い、児童生徒が日常的に端末を活用できる環境を引き続き維持する。

(1) 1人1台端末の積極的活用について

授業などのあらゆる場面において児童生徒が1人1台端末を活用して主体的に学習に取り組めるよう以下の取組を行う。

- ・ICT支援員を継続設置
- ・GIGAスクール運営支援センターを継続設置
- ・教員のICT活用指導力向上を目指した研修の充実
- ・1人1台端末を活用した授業実践事例の提供
- ・学習者用デジタル教科書の更なる活用

(2) 個別最適・協働的な学びの充実について

児童生徒が「自分で調べる場面」、「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」、「児童生徒同士や教員とやりとりする場面」、「自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」において、積極的に1人1台端末を活用することができるよう、以下の

取組を行う。

- ・教員のICT活用指導力向上を目指した専門性の高い研修の実施
- ・1人1台端末を活用した授業実践事例の提供
- ・デジタル採点システムにおける成績分析機能の活用

(3) 学びの保障について

児童生徒等に対し、1人1台端末をはじめとするICT環境を活用することで、学びの幅を広げ、学習機会を確保するため、以下の取組を行う。

- ・希望する不登校児童生徒への授業配信の実施
- ・希望する児童生徒への1人1台端末を活用した教育相談の実施
- ・障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に
応じた支援